

福井商工会議所の動き

FCCI NEWS

12月度議員懇談会

在日フランス商工会議所の取り組みについて懇談



12月度議員懇談会を12月1日午前11時より福井商工会議所ビルにて開催し、議員75名が参加した。

開会の挨拶において、八木会頭は、11月にホノルル日本人商工会議所のメンバーが来福し、歓迎レセプションを開催したことを振り返った。

ホノルル日本人商工会議所と福井商工会議所は1981年に友好提携を結び、2021年で締結40周年を迎えた。同年はコロナ禍のため、記念の交流や催しが開催できなかったこともあり、本年に改めて交流事業を行っている。7月には福井商工会議所のメンバーがホノルルを訪問し、40周年記念レセプ

ションを開催していた。

歓迎レセプションについて八木会頭は、「是非福井の食を召し上がってもらいたいとの想いで、ふくいサーモンや敦賀真鯛などの福井の新鮮な魚と地酒を提供して、大変喜んでいただいた」と感想を述べた。最後にはイチチョライ節を出席者全員で踊り、福井の伝統文化に触れ大いに盛り上がった。両商工会議所の友好と絆を深め、持続的な交流を確かめ合う機会になったと振り返った。（詳細は61ページに掲載）

続いて卓話に移り、在日フランス商工会議所のメンバーから「在日フランス商工会議所が目指す広域経済交流について」と題して説明が行われた。

始めに、ボナルデル・ニコラ事務局長から、「日本国内で最大規模の在日商工会議所として、各地と友好提携を締結しており、福井とも交流を深めていきたい」と挨拶があった。

続いて事業開発部の郷倉ナタリー氏よりフランス国内の経済状況などに関する説明が行われた。フランスでは、緩やかなインフレが続いており、輸出入は原子炉関連産業や自動車製品が上位を占めていること、国を挙げてカーボンニュートラルに取り組んでいることなどが示された。

最後に、神奈川デスク代表を務める

金谷桃絵氏より、在日フランス商工会議所の活動について紹介が行われた。同会議所には、日仏の600を超える企業が会員として所属しており、両国におけるビジネス交流の発展を図るとともに、国内外に持つネットワークを活かしてビジネスシーンにおける様々なサービスを提供している。

金谷氏は、同会議所内の具体的な活動内容や、これまでに開催してきたイベントやセミナーなどの実績を紹介しながら、県内企業との連携や活用を呼び掛けた。



開会の挨拶を行う八木会頭



在日フランス商工会議所事務局長のボナルデル・ニコラ氏